

‘09年10月17-18日 長野合宿

by kuma

10月17日-18日。毎年恒例の長野合宿に参加してきました。
私はここ数年所用で欠席が続いており、今年は久しぶりの参加でした。

日没前には現地入りするつもりで余裕を見てお昼過ぎに自宅を出発したのですが、道中全くの渋滞知らずで15時半には集合場所の閑静荘に到着してしまいました。
予想外の早い到着のため当然一番乗りです。

毎年お世話になる閑静荘は、名前の通り閑静な山間にある静かな宿です。
右の写真は宿泊部屋からの眺めです。



まだ観望開始まで時間もある事だし、早速独り呑み会の開始です。🍷

しばらくすると雨がパラついてきた…。☔
天気予報も夜からは晴れマークが出ていたので気にせずそのまま呑み続けていたところ、1時間後には続々と参加者が到着して18時には全員集合。

全員と言っても今回はたったの5人だけなんです…。幾らなんでも寂し過ぎです。

閑散期と言う事もあり宿泊客は我々だけでしたが、閑静荘の夕食はとても合宿メニューとは思えないほど品数も多くてボリュームのある内容でした。果たしてこれで採算が取れているのか心配したくなるほどで、これもイベント担当のামীゴさんの手腕でしょうか。

夕食後、各々風呂を済ませて部屋で待機していると、やがて雨も上がり、予報通り21時頃には雲間から星が見えてきました。早速身支度を整えて車3台に分乗して出発します。

当初は宿からすぐ近くの小学校のグラウンドで観望する予定でしたが、予想以上に民家が近かった事もあり、相談の結果、車で5分の村営グラウンドの駐車場まで移動することにしました。

観望地に到着して空を見ると、そこには満天の星空が広がっていました。いやー、これは凄い。頭上には夏～秋の天の川がクッキリで、久しぶりに微光星のザラついた感覚を味わいました。私は以前隣の川上村にはよく来ていましたが、南相木の空も負けず劣らずで素晴らしい。我々のホームグラウンドの富士山よりも確実にワンランク上の暗さです。部分的に残っている千切れ雲も真っ黒で、普段の空だと夜でも白い雲が見えるのに、そこに星が見えないから雲があるんだと判るほどの暗さで足元も全く見えません。



アミーゴさん撮影の南相木村の空

NikonD700

AF-S VR24-120 24mmF4.5

ISO6400 30 秒露出 固定撮影

低空に僅かに残る雲に街明かりが反射していますが、僅か 30 秒の露出ではくちょう座付近の天の川が二分割しているのが判ります。

早速ドブをセットします。場内が暗過ぎて適当に検討をつけて撮影したため、ご本尊の一部がフレームアウトしてしまいました。真っ暗なのでトラスカバー無しでも十分でしたが、先ほどまでの雨で足元が濡れ夜露が酷そうだったので途中からカバーを装着します。



アミーゴさんの Borg101ED & EM10。

背中には NikonD700 が乗っています。

夜露が酷くて途中でレンズが曇ってしまいましたね。ディープサイクルバッテリーも揃えていることだし、次回からはヒーターをお忘れなく。

今回は今年入会したばかりの女性二人も参加してくれたので、はるパパ会長がガイド役として付きっきりで星空ガイドを買ってくれました。初心者の彼女たちにもアンドロメダや二重星団などが肉眼でもはっきりと確認できたようです。オリオン群と思われる流星もかなりの数が飛んでいました。極大日までまだ数日あるはずですが、既にかかなりの群流星が流れており、日付の変わる頃には微小な物からマイナス等級も含め HR20 個程度は数えられました。



はるパパ会長が流星観望用にブルーシートを敷いてくれたので、早速寝っ転がる二人。流星をたくさん見たいのならこの体勢が一番確実です。

双眼鏡を手にしながらの星空ウォッチはさぞや至福のひと時だった事でしょう。場内は無風で冷え込みもそれほどでもなかったのも幸いでした

流星が流れる都度に歓声が上がりますが、私は大半を見逃していたのでした。近くに民家もないので特に気にしませんでした。動物たちには結構迷惑だったかもなあ。

女性陣の賑やかな声を背中で聞きながら、メジャーどころを中心に導入します。

最初に西に傾いた**網状星雲**から見るとその濃さは特筆モノ。これには初心者の二人からも声が上がりました。**アンドロメダ大星雲**はバルジを取り巻く二本の暗黒帯がクッキリと浮かび、同一視野内に見える二つの伴銀河も大変見事な眺め。**NGC891**などは富士山で見るよりも数段濃い暗黒帯がスパッと切れ込んで見えています。難物**ステファンの五つ子**も全部見えていたと思いますが、5個全部を見た事がないのでの確信が持てません。**NGC7662**はフィルター無しでもらせん状の内部構造が確認できました。低倍率で観望する場合、並の空だと背景が明るくなり淡い対象が見辛くなりますが、背景が漆黒のためどの対象もコントラスト良く浮かんで見えました。

この後も天の川周辺の散策を楽しみ、オリオン座が十分な高度まで昇ってくるのを待ってから**M42**を導入します。OⅢフィルターを付けると星雲が濃すぎて中心部が埋もれてしまうため、**トラペジウム**はフィルターなしの方が見易く、どうやらこちらの方がウケも良い。いつも見慣れているはずの会長も食い入るように見続けています。濃淡の入り混じったその姿は星雲の色もうっすらと感じられるほどの見事な眺めでした。

翌朝の事もあるので今夜はこれにて打ち止め。今夜は湿気が多くシーイングが良くなかったのでメジャーな明るい対象を中心に見ましたが、普段なかなか体験する事の出来ない素晴らしい眺めが楽しめました。何たって丹星お気楽観望の代表的存在であるはるパパ会長が、私よりもドブを占有していたほどですから。

2時過ぎには宿に戻りましたが、男性陣は引き続き部屋で呑んでいたのが就寝したのは4時頃だったのかな。朝食を遅い時間にいただいたおかげでゆっくり眠るができました。

翌日も朝からピーカンな空で、女性陣と会長は宿の近くを散策されてきたとか。☀️
朝から元気ですなあ。



Photo Matsumoto

チェックアウトも済ませ、最後にオーナーご夫婦を交えての記念写真。
10時には宿を後にしました。

今年は少人数の遠征でしたが、オリオン群の出現も含め素晴らしい空に巡り会えたおかげで、大満足の長野遠征になりました。毎年快適な宿を提供して下さる閑静荘の皆さんにも改めて感謝します。

また来年もこの素晴らしい空に出会う事を楽しみにしています。

了